

新入学児童・園児の交通事故防止について

4月は、交通ルールに慣れていない子ども達が、幼稚園や小学校に通い始める時期です。ドライバー、保護者の皆さん！新入学児童・園児の特性を理解して、

子供の特性について

- 視野が狭い
大人の視野が左右方向に約150度、上下方向に約120度あるのに対し、6歳児では左右方向に約90度、上下方向に約70度しかないと言われています。身長も低いので見えている範囲が狭くなっています。
- 車の速度を正確に判断できない
走ってくる車の速度や、その車から自分までの距離を正確に把握して安全に道路を横断できるかどうかを判断することができません。
- 好奇心が強い
好奇心が強く、色々なものに目が向いてしまいがちです。また、一つのことには注意が向くと周りのものが目に入らなくなります。

ドライバーの皆さんへ！

- 学校、幼稚園等の近くを通るときや、子供を見かけた時は、飛び出しなど子供の動きに十分注意し、減速、徐行するなど安全で思いやりのある運転を心掛けましょう。
- 交差点や横断歩道での安全確認と減速、徐行を実践しましょう。
- 横断歩道を横断しようとしている子供を見かけたら、必ず一時停止しましょう。
- 違法駐車、迷惑駐車は、子供の車の陰からの飛び出し事故の原因となるのでやめましょう。
- 交差点を右左折するとき、横断歩道を渡っている子供がいるかも知れません、子供は身長が低いので、運転席から見えずらいこともあります、安全確認を徹底しましょう。



保護者の皆さんへ！

- お子さんと一緒に通学（園）路を歩き、正しい横断方法信号の意味と見方などについて分かりやすく教えましょう。
- お子さんが外出する際は「右左の安全を確認する」「飛び出しをしない」等、一声かけて注意を促しましょう。
- 横断のため信号待ちするときは、歩道の端から2、3歩下がった場所で待つよう教えましょう。



